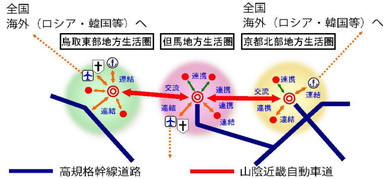
延長120kmの広がるネットワーク

山陰近畿自動車道は、鳥取市から豊岡市を経て宮津市に至る延長120kmの地域高規格道路で、平成6年に計画路線（正式名称「鳥取豊岡宮津自動車道」）として指定を受けました。

山陰近畿自動車道の整備により、鳥取東部、但馬、京都北部の３地方圏域の交流、連携が強まるとともに、鳥取砂丘コナン空港、コウノトリ但馬空港や重要港湾である舞鶴港、鳥取港など交通拠点へアクセスしやすくなり、地域の生活が支えられます。

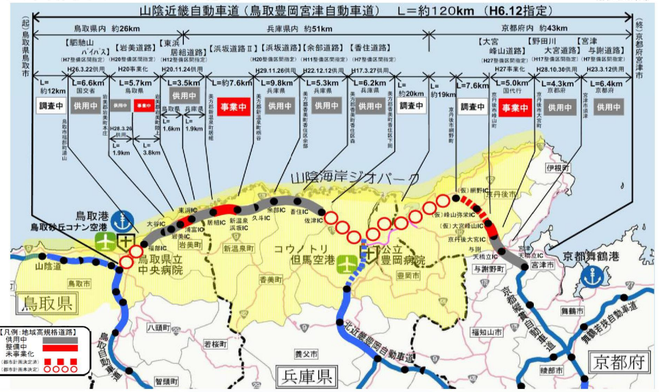
さらに、高規格幹線道路である山陰道、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道と連結することにより広域的なネットワークを形成します。



連携機能
通勤圏域の拡大や都市と盛山村地域との連携を強化します。

交流機能
高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促します。

連結機能
空港・港湾等の広域交流拠点や三次救急医療機関、地開発拠点等とを連絡します。



いのちを守る

・沿線の医療施設間の連携が強化
・救急医療機関への30分到達圏が拡大

わくわく観光

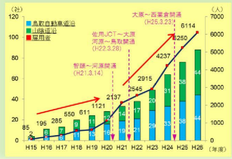
鳥取砂丘 279万人(H21) → 294万人(H25)
湯富海岸 15万人(H21) → 21万人(H25)

・山陰海岸ジオパーク４地点の観光客数は、沖縄県（658万人）を上回る672万人（H25）

城崎温泉 76万人(H21) → 80万人(H25)
天橋立 271万人(H21) → 277万人(H25)

みんな快適

・通勤圏が拡大し、安定した雇用の確保
・高速道路の整備で誘致企業が増加中



ユネスコ世界ジオパーク
山陰海岸ジオパーク

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
San'in Kaigan UNESCO Global Geopark
山陰海岸ジオパーク

四季の旬な素材

山陰海岸ジオパークは、京都府（京丹後市）、兵庫県（豊岡市・香美町・新温泉町）、鳥取県（岩美町・鳥取市）にまたがるエリアであり、山陰海岸国立公園を中心に、京丹後市の東端から鳥取市の西端まで、東西約120km、面積は2458.44㎢で、東京都よりひとまわり大きい広さになります。

この地域は、日本海形成から現在に至る様々な地形や地質が存在し、それらを背景とした生き物や人々の暮らし、文化・歴史に触れることができる地域です。

山陰海岸ジオパークは、平成22年10月「世界ジオパークネットワーク」に加盟が認定され、平成26年9月に鳥取市西エリアまで拡大して再認定されました。

また、世界ジオパークは平成27年11月に世界遺産と同じユネスコの正式事業として承認され、今後、一層の発展が期待されています。

鳥取県　県土整備部　鳥取県土整備事務所
〒680-0061　鳥取市立川町6丁目176
TEL:0857-20-3579　FAX:0857-20-3598
Email : tottori_kendoseibi@pref.tottori.jp　URL : http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kendo/
facebook : https://www.facebook.com/tottori.kendoseibi
Instagram : http://instagram.com/iwami_doro

E9 山陰近畿自動車道
（地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」）

一般国道178号

岩美道路

山陰海岸ジオパーク
～ジオパークロード～

このみずみずしさを未来へ
鳥取県